

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	障害児学童保育補助金交付事業	所管	保健福祉部 子ども支援課
			TEL 2998-9124

事業の目的 (何の為に 行うか)	養護学校等に通学する障害児の健全育成を図るため、養護学校等児童クラブを運営する団体に対して補助金を交付する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	養護学校児童クラブを運営する団体(障害児学童クラブくじらを運営する会)	対象とした数	1	団体
		実際に 利用した数	1	団体

活動の内容	(何を したか)	補助対象となる経費＝運営費、家賃等、賠償責任保険料 市内に所在する児童クラブに対する補助金額は、次の補助基準額と実支出額を比較して少ないほうの額。 運営費＝基準指導員1人年額1,692,000円×基準指導員数 家賃等＝1か月100,000円以内 賠償責任保険料＝10,000円 市外に所在する児童クラブに対する補助金額は、次による。 重度障害児＝1人月額47,000円×延在籍児童数 その他の障害児＝1人月額23,500円×延在籍児童数							
		活動実績	項目名	年間利用人員(延)	174	項目名	項目名	単位	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	11,302	9,610	10,268	30.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	受入人員	受入実績÷目標値	200	174	87.0
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040500	TEL	2998-9124
事業コード	障害児学童保育補助金交付事業					
040505						
開始年度		平成 16 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			所沢市障害児学童保育事業費補助金交付要綱、埼玉県障害児学童保育事業費補助金交付要綱				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	1 子どもたちの健全育成	小柱	(2)放課後児童の健全育成
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード		ユニバーサルデザインの推進		コード					
1311				コード					
事業開始の背景									
一般の学童保育施設は、ほぼ各小学校区に設置されているが、障害のある児童の利用は少数に留まっていたことなどから、所沢養護学校に通学する障害児の保護者等が中心となり、平成15年秋に自力で障害児学童クラブ「くら」を開設した。保護者や運営主体からの要望を受けて、平成16年度から補助事業を開始した。									

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)								
	養護学校等に通学する障害児の健全育成を図るため、養護学校等児童クラブを運営する団体に対して補助金を交付する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	養護学校児童クラブを運営する団体(障害児学童クラブくらを運営する会)			補助金交付団体					
	対象数	単位	平成 18 年度	1	団体	利用数	単位	平成 18 年度	1
		平成 19 年度	1	団体			平成 19 年度	1	団体
事業の具体的な内容及び実施方法									
補助対象となる経費＝運営費、家賃等、賠償責任保険料 市内に所在する児童クラブに対する補助金額は、次の補助基準額と実支出額を比較して少ないほうの額。 運営費＝基準指導員1人月額1,692,000円×基準指導員数 家賃等＝1か月100,000円以内 賠償責任保険料＝10,000円 市外に所在する児童クラブに対する補助金額は、次による。 重度障害児＝1人月額47,000円×延在籍児童数 その他の障害児＝1人月額23,500円×延在籍児童数									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
施設の管理運営状況、他市等の補助基準等を参考に、補助金額の見直しを行った。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		10,240	11,302	12,196
	決算(見込み含む)		9,610	9,610	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.07 人	644	0.07 人	658
	公債費				
	事業費合計		10,254	10,268	
	財源内訳	一般財源	10,254	10,268	12,196
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			30.3	30.3	
利用数一単位あたり(単位:円)			10,254,000.0	10,267,580.0	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	年間利用人員(延)	実績	単位	人	H 18	168	H 19	174	H20見込み	180	将来目標
	活動実績											
	成果分析	受入人員	受入実績÷目標値			目標値	200	200	180			
						実績	168	174		実績値の拡大を図る1	実績値の縮小を図る2	1
					%	達成率	84.0	87.0				

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	任意団体	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	児童は所沢養護学校の生徒であるため体格が大きく力も強い。男性スタッフでなければ介助が難しいが、給与等の条件が十分でないために男性スタッフの確保が困難であるため補助金額を見直していく必要がある。					
	今期目標項目(何を)	安定した保育環境の整備	人員確保への協力	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	年度内	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())						
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由							
障害児の健全育成のためには不可欠な事業である。事業の充実に向けた人員確保等保育環境の整備を推進していく。							
評価日		平成20年6月6日		記入者職氏名		子ども支援課長 黒澤潤子	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑨個別計画における方向性	年度内優先順位…	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価日						<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
施策の体系				
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	2153	
基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
主要課題	1すべての子育て家庭への支援			
施策の方向	5障害児施策の充実			